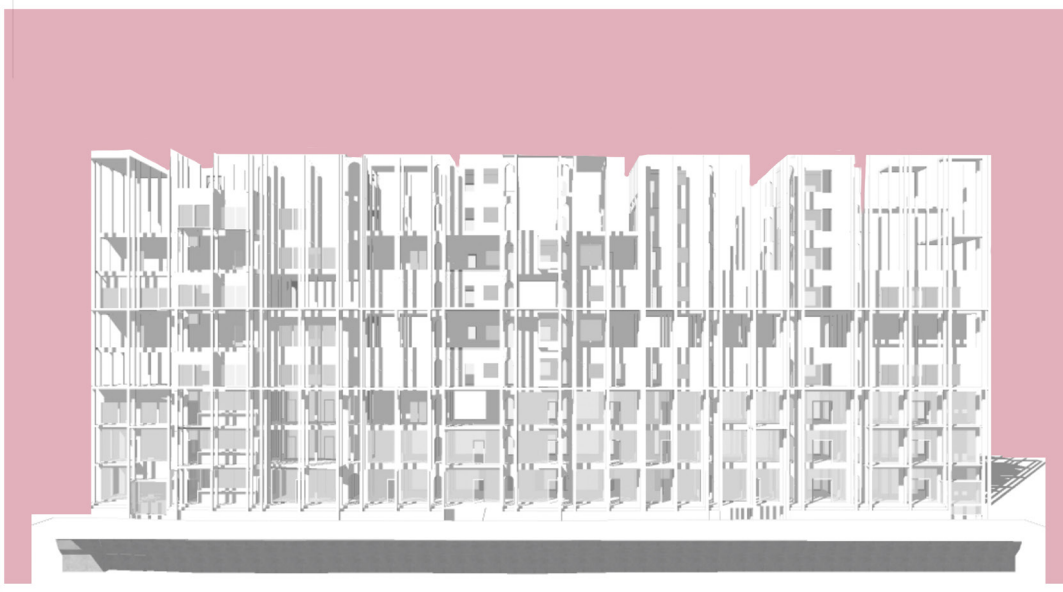


—— 自然環境の地域特徴と共生する「住居群形態」に関する研究 ——



— 親水空間 —

川は人々の生命を育んできただけではなく、洗濯や観光、貿易、休憩など生活行為を想像させるものだ。そのような生活行為を川と共生する住宅空間に溶け込ませることが本研究の目的である。

研究動機・背景 Research motivation

なぜこの研究を選んだのか

住宅写真: 「今」

「昔」

「今」: なんでもあるけど、なにもない

生活行為:

(住宅群・団地)

どこに住んでも生活行為は同じで、独特の地域性文化が失われている。

「昔」: なんにもないけど、いっぱいある

生活行為:

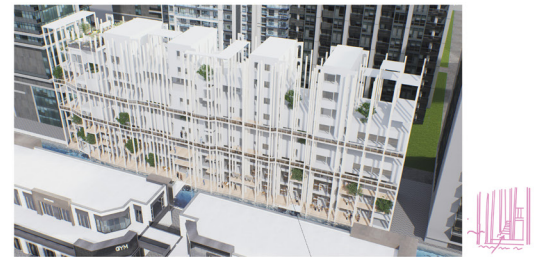
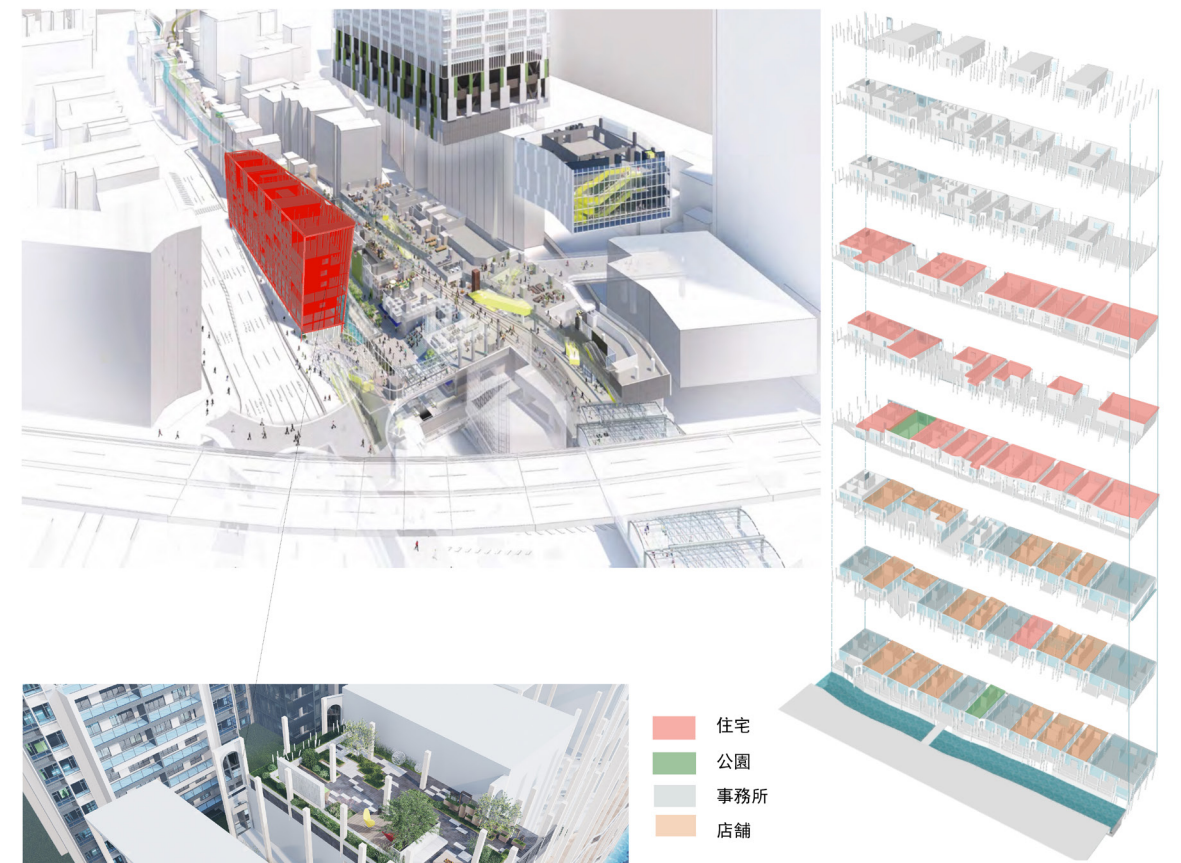
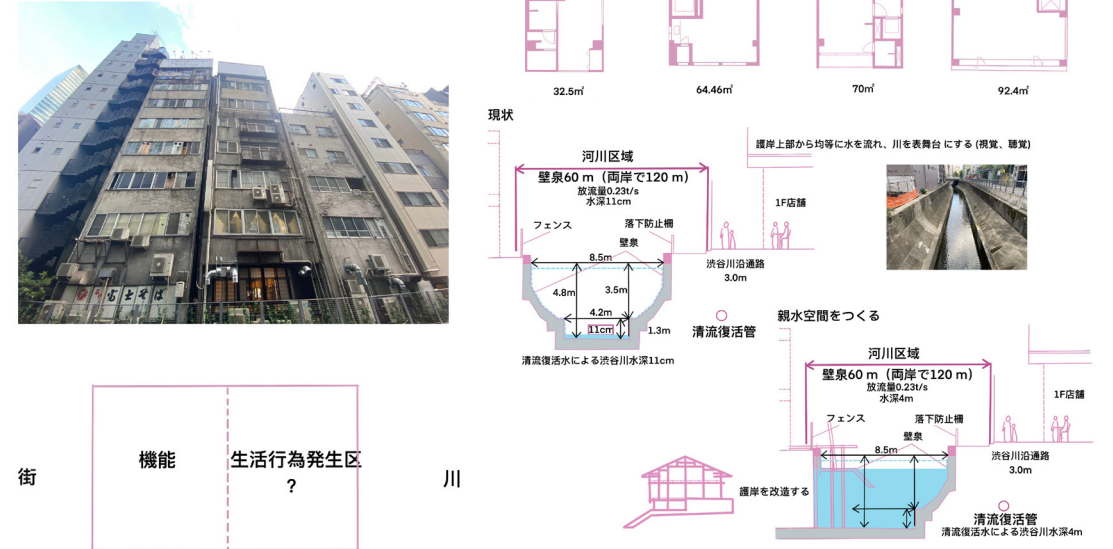
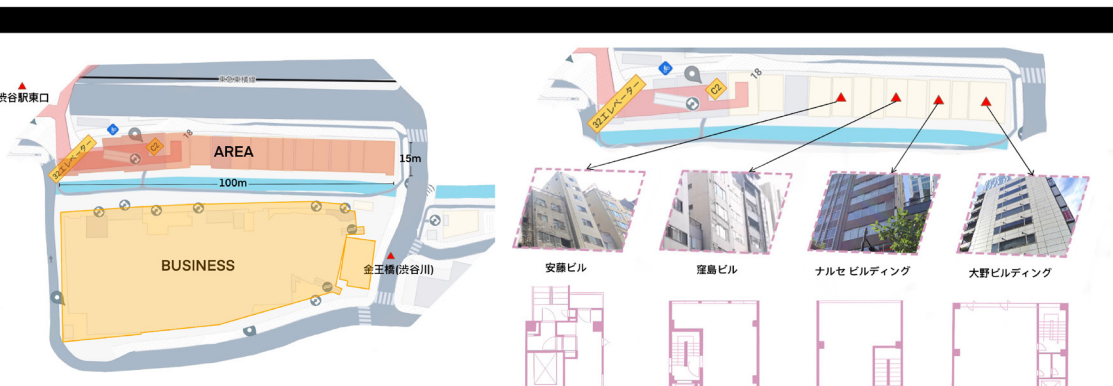
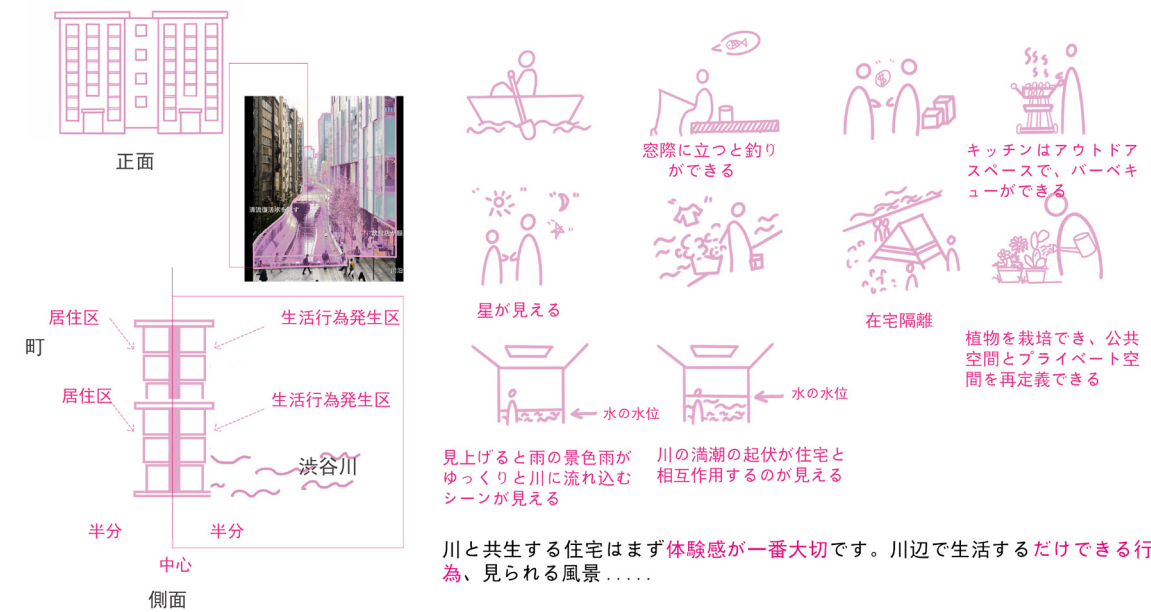
(日本・舟屋) (西洋・パロック) (中国・吊脚楼)

環境と共生し、独特な建築特色、文化信仰を持つ建築は、さまざまな生活行為を生み出している。

コンセプト・仮説 Concept/Hypothesis

理想の渋谷川を考える

コンセプト: 生活行為を感じられるリバーサイド住宅空間を川と共生する住宅の可能性(仮定する):



研究内容・方法: Research content

前期調査 SCAT 質的研究方法

高橋・中国 日本建築
七つ都府の都市建築空間を調査

- 伝統的木造建築 (和風)
- フランス・ブルジョア (ロココ)
- アール・ヌーヴォー (オランダ)
- 自然建築 (伊豆半島)
- 高層ビル (伊豆半島)
- 都市空間 (伊豆)
- 吊脚楼 (中国)

川と共生する住宅空間の可能性:

公共空間:

住宅と公共施設の接続空間 (住宅と住宅のつながり) (狭い通り) (住宅に入ると町がある)

自然と結合した空間:

(バルコニー) (地形に合わせて下から上への入り口) (置き場) (川の表面空間を借りて)

集合住宅の形態:

(立ち寄り家々) (日光の需要に応じて窓を大きく開く) (ますます高層になる構造方法) (生活行為を行うための階段)

立地: 渋谷川
なぜ渋谷川で研究を行うことを選んだのか

一場所を調査する(渋谷川)川との共生の可能性を都市空間に探る

渋谷川「親水空間の地理環境」

事例分析: Case analysis

インタビュー
渋谷川のプロジェクトを参考にする

インタビュー
渋谷川プロジェクトを参考にする

コンセプト
渋谷川プロジェクトの調査は、渋谷川沿いの水辺を「まち歩き」で、歩、乗、遊、憩の四つの視点から調査し、その結果を「まち歩き」のレポートとしてまとめた。このレポートが、この研究の基礎となり、今後の研究に活用される。

私の考え

課題点

住宅地と親水性空間はつながっていない

渋谷川商業地区の復活か、住宅地の改善は実現したのか

改善前 改善後

